

NO.5 事業名 畑地帯総合整備事業(国補)
箇所・地区名 一宮金田

平成 2 0 年度公共事業等事後評価調書

1. 事業説明シート (1)

(区分) (国補) 県単

事業名	畑地帯総合整備事業		事業箇所	笛吹市一宮町	地区名	一宮金田	事業主体	山梨県
(1)事業着手年度	H 4 年度	(2)事業期間	H 4 ~ H 1 5	(3)完了後経過年数	5年	(4)総事業費	2,257百万円	
(5)事業着手時点の課題・背景					(8)事業位置図等			
<p>本地区は旧一宮町の北部に位置し、モモ・ブドウを中心とした果樹栽培が盛んな地域である。</p> <p>しかしながら、地域農業を支える生産基盤は立ち後れ、農道は幅員が狭小で未舗装であることから、荷傷みの発生を防ぐために運搬に時間を要するなど、輸送効率が悪かった。また、水路は老朽化や断面不足などにより、大雨時には水路から溢れ出し農地の浸水や流亡等の被害が起きていた。</p> <p>このため、農道及び水路の整備を行うことで営農労力の軽減を図り、農業経営の安定を目指すものである。</p>								
(6)事業着手時点で想定した整備目標・効果								
<p>(事前評価未実施)</p> <p>主要目標 農業生産力の向上</p> <p>副次目標 農業用排水能力の向上</p> <p>副次効果 農地の保全</p>								
(7)整備内容 (目標達成の方法)								
道路工	1 9 路線	L = 9.4 km	W=4.0m					
排水路	4 路線	L = 2.0 km	B=0.5 ~ 0.9m H=0.5 ~ 0.9m					

2. 評価シート(1)

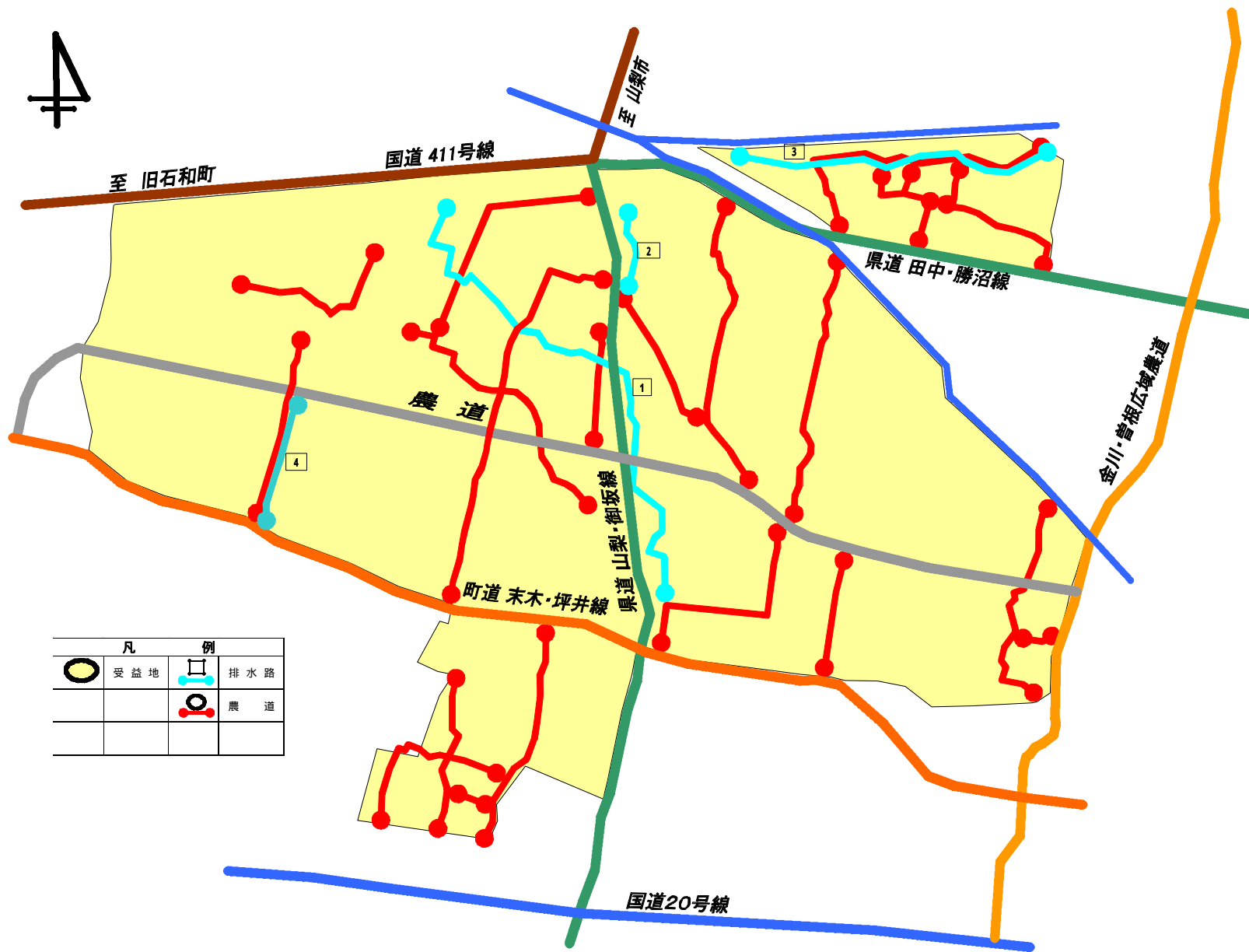
<p>(1)事業貢献度 (良) ・ 不良</p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 農道・水路が整備されたことにより、農産物の増収、品質向上及び営農経費の軽減が図られ、農業所得が増加した。 <p>主要目標 農業生産力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:20%;">指 標</th> <th style="width:40%;">着手時点数値等</th> <th style="width:40%;">評価時点数値</th> </tr> <tr> <td>所得増加額</td> <td>578千円/h a</td> <td>750千円/h a</td> </tr> </table> <p>評価時点の数値に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 増加所得が750千円/h aとなり評価基準値の703千円/h aを満たしている。 <p>副次目標 農業排水能力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:20%;">指 標</th> <th style="width:40%;">着手時点数値等</th> <th style="width:40%;">評価時点数値</th> </tr> <tr> <td>排水能力</td> <td>1.0 2.3</td> <td>2.3</td> </tr> </table> <p>評価時点の数値に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 排水路の整備により、排水能力向上率が2.3となり、基準値の1.0以上を満たしている。 <p>副次効果 農地の保全</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:20%;">項 目</th> <th style="width:80%;">内 容</th> </tr> <tr> <td>農地の保全</td> <td>降雨時による水路の溢水により、表土の流出が発生していたが、排水能力が改善され、農地が保全されている。</td> </tr> </table>	指 標	着手時点数値等	評価時点数値	所得増加額	578千円/h a	750千円/h a	指 標	着手時点数値等	評価時点数値	排水能力	1.0 2.3	2.3	項 目	内 容	農地の保全	降雨時による水路の溢水により、表土の流出が発生していたが、排水能力が改善され、農地が保全されている。	<p>(2)費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 (有) ・ 無</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:20%;">項 目</th> <th style="width:40%;">着手時点の計画</th> <th style="width:40%;">事後評価時点の実績</th> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>1,311,000千円</td> <td>2,257,000千円</td> </tr> <tr> <td>工 期</td> <td>H4~H8</td> <td>H4~H15</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>1,311,000千円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>2,189,875千円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.67</td> </tr> </table> <p>(要因変化の分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総事業費：土質が想定していたよりも悪く、構造物の大型化や路床改良が必要になったことなどから、総事業費が増となった。 工 期：構造物の大型化等に伴う用地取得や、埋蔵文化財・畑地かんがい施設等の埋設物調査等に不測の日数を要したことから事業期間が7年延長となった。 便 益：物価変動等による増。 <p>(3)事業実施による環境の変化 (有) ・ 無</p> <p>自然環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし <p>生活・居住環境等への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺集落の洪水被害が防止された。 <p>環境保全対策の効果の発現状況(措置を講じた場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし <p>(4)社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響 有 ・ (無)</p> <p>社会経済状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし <p>関連計画・関連事業の状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし <p>事業環境等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし 	項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績	総事業費	1,311,000千円	2,257,000千円	工 期	H4~H8	H4~H15	経済効率性	費用	1,311,000千円	便益	2,189,875千円	B/C	1.67
指 標	着手時点数値等	評価時点数値																															
所得増加額	578千円/h a	750千円/h a																															
指 標	着手時点数値等	評価時点数値																															
排水能力	1.0 2.3	2.3																															
項 目	内 容																																
農地の保全	降雨時による水路の溢水により、表土の流出が発生していたが、排水能力が改善され、農地が保全されている。																																
項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績																															
総事業費	1,311,000千円	2,257,000千円																															
工 期	H4~H8	H4~H15																															
経済効率性	費用	1,311,000千円																															
	便益	2,189,875千円																															
	B/C	1.67																															

評価シート(2)

<p>(5)今後の事後評価の必要性</p> <p style="text-align: right;">有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p>	<p>(7)同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性</p> <p style="text-align: right;"><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の事後評価において、増加所得額など十分な効果が発現されているため、今後の事後評価は必要ないと思われる。 <p>「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時期： 年度 ・ 方法： 	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路構造物の大型化や路床改良などによる事業費増が生じるとともに、用地取得や埋設物調査等による工期の延期が必要となった。 <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の事業計画は、現地調査を入念に行い計画の精度を高めること及び、事業の時間管理を徹底し事業の効率性・透明性の確保を図る。
<p>(6)本事業における改善措置の必要性</p> <p style="text-align: right;">有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p>	<p>(8)事業評価手法の見直しの必要性</p> <p style="text-align: right;">有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済効率性など事業の効果が発現されており、改善処置の必要性はない。 <p>(具体的改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>(既の実施した改善策の内容と効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(9)その他特筆すべき事項</p> <p style="text-align: right;">有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p>

1. 添付資料シート(1)

畑地帯総合整備事業 一宮金田地区



添付資料シート(2)



道幅が狭かった農道が整備され、輸送効率が向上した



大雨時には水路から溢水していたが、水路が整備され排水能力が向上した

